

# 小さき声の カノン

Little Voices  
from Fukushima

～鎌仲ひとみ監督からのメッセージ～

はじめはみんな、泣き虫なフツーのお母さんだった。

東京電力福島原発事故から7年。事故による影響は、安全でる・危険であるといった議論からこぼれ落ちる声が存在している。それは不安な気持ちを抱えたお母さんたちの声だ。かつてチェルノブイリ原発事故を経験したベラルーシでは、子どもたちに何が起きたのか。

お母さんたちはどうやって子どもを守ろうとしたのか？福島とチェルノブイリとの時間差は25年、今なお、その影響が続いていることは、実は知られていない。

日本のお母さんたちと同様、不安を抱いたお母さんたちが大きな声に流されることなく、直感にしたがって子どもたちを守る道を探し続けている。事故の衝撃に立ちすくみ、ただ困惑している時期は過ぎた。希望を具体的につくり出す新しいステージに今、私たちは立っている。迷いながらも日本のお母さんたちが自分たちの意志で動き始めた。そんなお母さんたちの小さな声が、国境を越えて響き始める。

監督 鎌仲ひとみ

## ～人とアートをつなぎ未来を描くトーク&ライブ～



### 鎌仲ひとみ【映像作家 映画「小さき声のカノン」選択する人々】監督

フリーの映像作家として、NHKで「エンデの遺言ー根源からお金を問う」などのテレビ番組を多数監督。イラク取材をきっかけにドキュメンタリー映画製作を本格開始。「ヒバクシャ 世界の終わりに」(2003)、六ヶ所村ラブソディー」(2006)、「ミツバチの羽音と地球の回転」(2010)の核を巡る3部作は国内外で多数受賞、累計3,000カ所以上で上映。2015年「小さき声のカノン」を劇場公開。日本のみならず世界11カ国にも上映が広がっている。ドキュメンタリー映画を自主制作し、映画と出前トークで市民の手による自主上映ネットワークを切り開いてきた。株式会社ぶんぶんフィルムズ代表。多摩美術大学非常勤講師。著作に「原発の、その先へミツバチ革命が始まる」(集英社)など多数。

公式サイト <http://kamanaka.com/>



### 渡辺俊美【ミュージシャン、TOKYO NO.1 SOUL SET、THE ZOOTO16、猪苗代湖ズ】

1990年 TOKYO NO.1 SOUL SET としてデビュー。様々なジャンルを取り込んだ既成概念に捕らわれない独創的なサウンドは、幅広い層から支持を集める。2002年より自身の音楽的好奇心や冒険心を試みる場としてのソロユニット THE ZOOTO16 としての活動をスタート。2009年本人と同じ福島県出身の松田晋二 (THE BACK HORN)、山口隆 (サンボマスター)、箭内道彦 (風とロック) とともに結成されたバンド「猪苗代湖ズ」(渡辺俊美はBASS担当)として、チャリティーソング「I live you & I need you ふくしま」をリリースし、2011年の第62回NHK紅白歌合戦に出場。

音楽以外の活動では、2015年NHKスペシャルドラマで放送された「461個の弁当は、親父と息子の男の約束」の原作を手掛けるほか、現在、FMおだわら「渡辺俊美のINTER PLAY」(毎週木曜19時から)のパーソナリティーをつとめる。

公式サイト <http://www.zoot16.com/>



### 紗羅マリー【女優、モデル、アーティスト】

1986年12月12日生まれの子役、モデル、歌手。10代の頃からモデルとしてキャリアをスタートさせ、現在はファッション誌やショーで活躍しながら、若い女性を中心に絶大な人気を獲得。

ミュージカル「RENT」では舞台初出演。映画「ニワトリ★スター」では映画初出演にしてヒロイン役に抜擢されるなど、女優としても活躍している。

2010年4月にシングル「Cherry / Gossip」で歌手デビューを果たす。その後、自身の作品を発表する傍らK.J.、SEAMO、Miss Monday、TOKYO No.1 SOUL SETの楽曲に客演で参加。2015年からはLEARNERSのメインボーカルをつとめる。